

瀋陽駐在員事務所

2018年ゴルフシーズン到来！

春4月、いよいよ本格的なゴルフシーズンの到来ですね！ここ瀋陽市でもゴルフファンは年々増えています。北海道には164コース、うち札幌市には85コースがあると聞いていますが、さて瀋陽市にはいくつゴルフ場があるでしょうか？答えは2コースです。

単純に人口比で見ると、瀋陽市の人口は約800万人ですから、400万人に1コースの割合です。ちなみに北海道の人口が約538万人なので6万人に1コースくらいです。

ひと昔前なら、瀋陽市のゴルフ場と言えば、韓国人、日本人、米国人しか見られなかったものですが、今では中国人だらけ（中国だから当たり前！？）で、日本人会コンペをするにも一苦労しているようです。

現在、瀋陽市内の旅行会社は、北海道ゴルフツアーを企画しています。雄大な北海道でゴルフをして、夜は温泉に入るのが、瀋陽ゴルファーの憧れです。中国では、まだまだゴルフは富裕層のレジャーです。マナー、常識を兼ね備えた紳士淑女のスポーツです。そんな彼らが、北海道のゴルフ場で頻繁に見られる日も、そう遠くはないでしょう！



正司 毅

ウラジオストク駐在員事務所

ロシア正教のユニークな習慣

ロシア人の75%がロシア正教を信仰しているといわれています。そのロシア正教において、ロシア人が毎年喜んで祝う宗教的祭日として、「マースレニツァ」という祭りがあります。これは、イースターの前に行われる、東スラブ諸国の祭りであり、「冬が終わって春が来た」という意味を持つロシア宗教の伝統的な習慣です。

マースレニツァの日付は、イースターの祝日によって毎年変動しますが、概ね2月～3月頃になります。この祭りでは、マースレニツァという人形を飾り、ゲームやソリ遊びを楽しんだり、ブリヌィ（ロシア風クレープ）を食すなどの特徴があります。昔からマースレニツァでは、各曜日に特別な名前を付ける習わしがあります。例えば、水曜日は「ラコムカ」（美食家）と言われ、娘婿が妻の母親のところにブリヌィを食べに行く日です。また、日曜日は、「プロヴォディ」（歓送会）と言われ、親戚がお互いに謝ったりします。そして、お祭りの最後には、豊作を祈願してマースレニツァの人形を燃やします。

マースレニツァが終わった後、40日間の期間を経て、イースターになります。イースターは、十字架にかけられたイエス・キリストが三日目に復活したことを記念して行われる、キリスト教における最も重要な祭日です。2018年は4月8日がイースターでした。イースターでは、多くの教会で特別な礼拝が行われるほか、様々な行事も行われます。その中でも、最も特徴的な行いとして、イースターエッグの交換や、「クリチ」という甘いパンを食す習慣があります。



ユルキナ・ヴィオレッタ

北海道 ASEAN 事務所(シンガポール)

「シンガポール人が集まる場所」

例えるならば、北海道の総人口が函館市に住んでいる地域、それがシンガポールです。なかなか人混みに出くわさないのは高層建築と公共交通の計画整備の賜物ですが、ひとたび一同に動き出せば大混雑が発生します。

馴染み深い人混みは「ホーカー（フードコート）」です。平日の昼食時には林立するビル群からオフィスワーカーが押し寄せ、数百席のホールであっても場所取り合戦が日常です。多国籍の店々が軒を連ねる中でも、「安くて美味しい麺類」と「高めのヘルシーフード」には 20 分待ちの行列ができます。1 食 300 円台から、高いと言っても 600 円台が主流です。

日本食レストランでは、日本食の割に安い「天井」（1,300 円程）と、本格的かつシンガポール人好みの「鰻」（3,000 円～）が人気の様です。

ピーク時では、天井で 1 時間待ち、鰻は 3 時間待ち、もちろん勤務時間内には待てません。けれども、並んでいる中にはビジネスウェアもちらほらと…。

最近、北海道をコンセプトとしたフードコート「北海道マルシェ」がシンガポールの商業施設に開業しました。味噌ラーメンを食べながら、周りを見るとシンガポール人。夕食時の満員御礼の賑わいの中で、北海道の可能性を再認識させられる瞬間でした。



矢野裕之